

# 第2セッション

## 安全保障とエア・パワー

### 前後10年の考察

第2セッションでは、第1セッションを踏まえて「10年」をキーワードに我が国のエア・パワーの在り方やこれらを支える体制（態勢）等を議論する

やまぐち よしひろ

#### 山口 嘉大 1等空佐

（航空研究センター長）

防衛大学地球科学科卒業、米空軍大学指揮幕僚大学卒業、防衛研究所一般課程修了、政策研究大学院大学戦略研究プログラム修了、米国防大学情報・サイバー空間大学修了。

航空自衛隊入隊後、北部航空警戒管制団第33警戒隊長（兼ねて加茂分屯基地司令）、航空幕僚監部防衛部情報通信課、同 人事教育部人事計画課制度班長、第9航空団基地業務群司令、航空研究センター研究企画管理室長などを経て現職。

まえだ たかすけ

#### 前田 章輔 1等空佐

（航空研究センター運用理論研究室長）

名古屋大学文学部人文学科地理学卒業、英空軍ヘンダーソンフェローシッププログラムにより英国エクセター大学国際関係論卒業。

航空自衛隊入隊後、南西航空混成団司令部運用課、統合幕僚監部計画課、航空幕僚監部防衛課、第1高射群第3高射隊長（兼ねて霞ヶ浦分屯基地司令）、内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付などを経て現職。



記載の役職等については、すべて令和6年3月1日現在のものとなります。

やまもと さとし

## 山本 哲史 3等空佐

(航空研究センター研究員)

学術博士。神戸商船大学卒。名古屋大学大学院国際開発研究科修士・博士課程修了。東京大学大学院総合文化研究科特任准教授、モンゴル国立大学法学部日本法教員などを経て現職。東京大学、成蹊大学等にて教鞭をとる。専門分野は戦略、国際法、人権、難民。著作に「無人機とエア・パワー戦略」『エア・アンド・スペース・パワー研究』2021年、「ロシアのウクライ侵攻はなぜ経済制裁では止められないのか—戦略論から見た駆け引きのツールとしての経済制裁の機能分析—」『安全保障戦略研究』2023年、ほか多数。



つかもと かつや

## 塚本 勝也 氏

(防衛研究所 戦史研究センター 安全保障政策史研究室長)

国際関係論博士。筑波大学卒。青山学院大学大学院を経て、フルブライト奨学生としてタフツ大学フレッチャー法律外交大学院留学。同修士・博士課程修了。防衛研究所理論研究部社会・経済研究室長などを経て現職。専門分野は、安全保障論。編著書・訳書に、『エア・パワー：その理論と実践』（共編著、2005年）、『戦略原論』（共編著、2010年）、『エドワード・ルトワックの戦略論』（共訳、2014年）、『戦争と技術』（訳、2020年）『拒否戦略 中国覇権阻止への米国の防衛戦略』（共訳、2023年）ほか多数。



すぎもと あきら

## 杉本 晃 氏

(三菱重工業株式会社 防衛・宇宙セグメント航空機・飛昇体事業部技師長)  
航空機・飛昇体事業部航空機技術部主席プロジェクト統括、同航空機技術部長などを経て現職。同社における航空自衛隊次期戦闘機の開発責任者を務める。

